

災害に備えて 安定して供給できる水道を目指して

問合せ 水道課給水業務係

○幹線配水管の整備

水道管は、市内に広く網目状に布設されています。そのなかで幹線配水管とは、市内の水道管の軸となるものです。

市では、地震災害に強い構造の水道管により、市内の中心部に幹線配水管を環状に布設することで、大規模な災害時の被害の軽減と早期の復旧を目標にして、平成17年度から「幹線配水管震災対策事業」に着手し、29年度で完了しました。

主な施設の概要

管種 ダクティル鉄管N S形・鋼管

口径 200mm～600mm

総延長 約16.9km

※ダクティル鉄管N S形とは、大きな伸縮性と離脱防止機能を有し、地震や地殻変動に対して、継手部の安全性を高めている耐震管です。

○応急給水栓の整備

「応急給水栓」とは、大規模な災害時に各家庭への水道が断水してしまったときにも、より近くで水道水を受け取るための水栓です。

市では、幹線配水管震災対策事業の一環として、断水時にも速やかに応急的な給水活動ができるよう、幹線配水管上に応急給水栓を設置しています。

設置数 市内34か所



地上式の応急給水栓は、碧南レールパーク内に4か所設置されています。

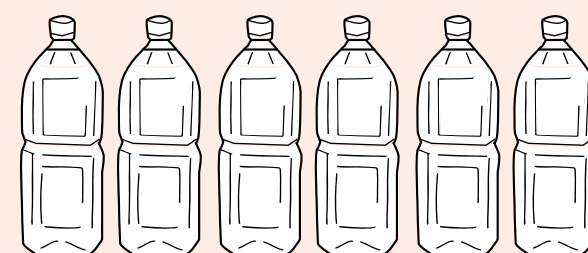


地下式の応急給水栓は、市内の道路や歩道に30か所設置されています。



○家庭でも水の確保を

- ・災害に備えて、日ごろから家庭でも水を備蓄しましょう。
- ・飲み水は、1人1日3リットルとして3日分、できれば7日分備蓄しておくといいでしょう。
- ・水道水の保存期間は、直射日光が当たらない風通しのよい場所で3日間が目安となるため、保存期間が過ぎたらトイレなどの雑用水に利用してください。



応急給水体験の様子

碧南レールパーク開園イベントで、応急給水栓に仮設給水施設を接続し、応急給水体験を行いました。



応急給水栓マップ

- …仮設応急給水栓
- …常設応急給水栓
- …愛知県応急給水栓
- 幹線配水管



災害時の応急給水

右のQRコードから水道課のウェブページへ移動します。お近くの応急給水栓の位置をご確認ください。



○災害時の応急給水の目標水量（1人1日当たり）

市水道事業では、災害に備えて、第2配水場に約2万1千立方メートルの水量の確保に努めています。災害時には、給水車による避難所への運搬給水や応急給水栓を利用した仮設給水施設による応急給水など、市民の皆さんにいち早く水を配ることを目指しています。

応急給水所へお越しの際は、ポリタンクやペットボトルなど水を入れる容器を持参してください。



△給水車

経過日数	災害発生～3日	4～14日	15～21日	22日以降
目標水量	3リットル	20リットル	100リットル	250リットル
用途	生命維持のための必要最小限の水量	調理・洗顔などに必要最小限の水量	洗濯浴用に必要最小限の水量	通常給水とほぼ同じ水量
給水方法	自己貯水 運搬給水	応急給水栓 運搬給水	応急給水栓 運搬給水	仮設配管による給水



△旭町にある第1配水場の応急給水栓（蛇口付）



△二本木町にある第2配水場の応急給水栓（蛇口付）



△第2配水場と栗山防災倉庫に保管されている資材を組立設置した仮設給水施設